

-よくいただく質問と回答-

～共同研究開発型（無償型）～

Q1：研究開発ステージについて、個別のステージのみの研究開発も対象となるのか。

それとも「公募テーマの詳細」で東京消防庁が示す全ステージを研究しなければならないのか。

A1：個別のステージのみの研究開発も対象となります。

研究開発ステージは、当庁と民間企業等で、各研究開発における共通のゴールを認識するために用いています。各「公募テーマの詳細」において、当庁が目指す研究開発ステージを示していますが、応募要領に記載のとおり、ご応募いただく民間企業等が示す研究開発ステージも審査の対象となります。企画提案書には、成果物がどのステージまで到達可能なのかを、示せる範囲でご記載ください。

Q2：研究開発ステージ8の「一部社会実装」に必要な試作品の数量は、どの程度を想定しているのか。

A2：研究テーマにより異なります。本公募においては、当庁からの研究開発資金の提供はありません。

ご応募いただく民間企業等が、ご準備できる数量で構いません。その数量についても企画提案書に示せる範囲でご記載ください。

詳細については、採択後に当庁と協議して決定します。

Q3：研究開発を検討している製品が複数あり、それぞれの製品でメーカーが異なり、複数社が関係する。この場合の申請方法はどのようにしたら良いか。

A3：ご応募いただく民間企業等が相互に合意していれば、①まとめて1件の応募、②製品ごとに1件ずつの応募の何れかの方法でも問題ありません。①、②どちらの場合においても、ご提案頂いた内容について、審査項目及び審査の観点（応募要領に記載）から、審査させていただきます。

なお、①の場合、製品により実験の有無や回数等が異なる場合があります。

Q4：テーマによっては基礎研究領域を開始地点としてステージが設定されているが、必ず基礎研究から始めなければならないという制約はあるか。

A4：応募要領に示す研究開発ステージは、テーマごとに示すその一番低いステージから研究することを求めるものではありません。応募するテーマがどのステージに該当するかを判断して応募してください。

Q5：採択後の社会実装に向けた実施のコミットメントについては、どの程度の度合いが求められるか。

A5：採択された民間企業等のご事情によるため、実現可能性も含めた社会実装に対するお考えを企画提案書に記載してください。

Q6：研究期間は2年間でなければならないか。

A6：最大2年間としているため、その必要はありません。採択後の研究開発の進捗に応じて、研究期間の短縮は可能です。